

——私は国王軍の拷問官

魔王討伐に向け、
日夜魔王の息のかかった者共を拷問にかけている

上からは「魔王の居場所を聞き出すよう」「いじく、
言われているが……」

クリボックスにしては好きなように嬲り
上には「聞き出せませんでした」なんて報告して終わり……

と、適当な拷問官だ

今日はこれから新しく2人連れ込まれて来るらしい

……か……

今日はこれから新しく2人連れ込まれて来るらしい

……か……



やっと捕らえることができたぜ、森のダークエルフさんよ

…こんなことしてただで済むと思ってるのか？

あんたはもう終わり、今頃魔王軍がわたしの事を探してる



おーこわいこわい
それじゃ早いところ全部聞かないとな
魔王の居場所について教えろ

ふ…そんなこともわかってないなんてね

(そんなことわたしも知らない…)

わたしだって会えるのは仲介の従者だけ、
認めたくないけど末端に過ぎない



今は知らない事を悟られないように…
(時間さえ稼げれば何とかかなるかもしれない)

まあ、話さないよな

プライドの高いヘルムちゃん



簡単に口を割らないことを見越して用意したのが目の前の箱だ
くくく…中身を見たら驚くと思っぜ？



…ッ!?

中身はエルフさんのクリトリスでした〜



(何を言っているこの男…!?)
アしがわたしの…モノなのか?)

驚いただろ、しっかりと本物だぜ? ほれ



ッ!!

くくく…これからたっぷり時間をかけて弄り倒してやるよ



低俗な奴だ…

何があっても情報は話さない、時間の無駄だな

大した自信だ！じゃあ、まずは「し」でもかけてやろう



強力な媚薬だ
何でも数滴でイキ狂うほど効果があるらしいぜ
(バカ! だったらかけすぎだ!)



エルフさんは人間なんかより優れてるから
これくらいドバドバかけられても平気だよな?
ああ? なんともないね...



ふーッ

くくく…どうした？

風にあてられただけで甘い声を出して



何でも…ない…



(さっきからこの男…
弄り倒すと言ったときながら触る気配も無い…



たまにこつやつて弱い刺激を与えてはニヤニヤと…
クソ…身体が熱い…)



よっ…お母さんの顔をじっと見つめてるな

えっ？

どうした？不満でもあるのか？



いっせ…

そうか、たっぷり時間はあるからな
じっと見つめておくれ



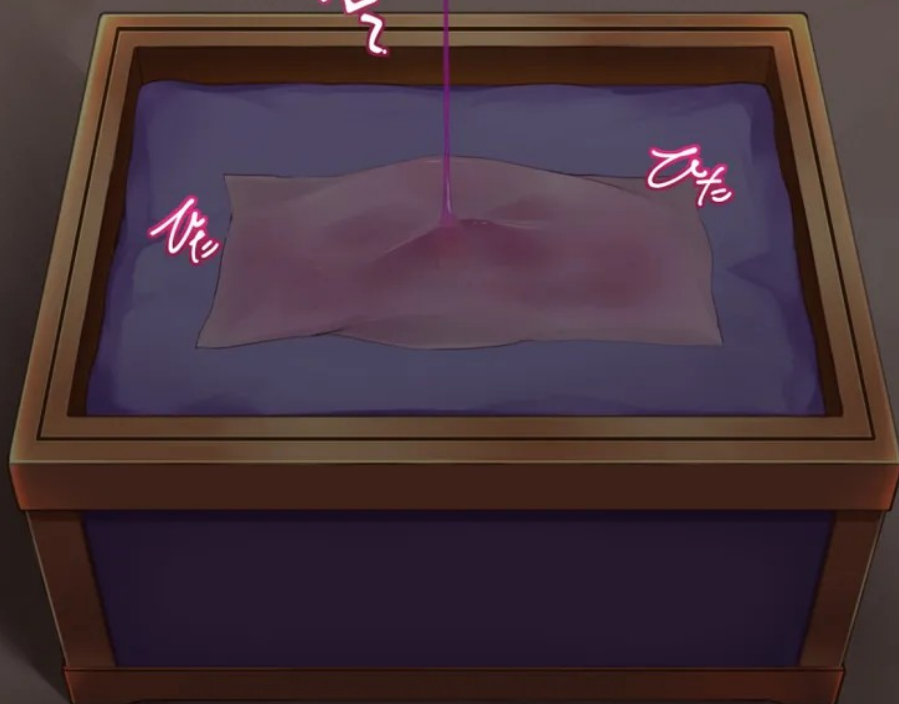
でも安心してくれ
明日のこの時間まで、
この媚薬がヒタヒタにしみ込んだ布をかけておいてやるからよ



待て!



コッ



蓋も開けといてやるよ、
くく…運よく隙間風が刺激してくれたら良いな

さあ次は君の番だよ

どんな手か知らないけれど
吸血鬼を尋問しようなんて愚かねっ



なんだ？随分と余裕そうじゃないか
これは楽しませてくれそうだ



(国王軍の拷問なんて大方低級な魔法を使ったものでしょ？
でも、吸血鬼の対魔力をもつてすればどんな魔法だって
意味をなさないわ♪



ホント、人間はサル並みに頭が弱いからね〜

自分が置かれた状況を理解してないようだな
君に巻き付いているそれ、何かわかるかい？

魔力を食らう、貪食のスライムから作った特製拘束だよ
ほらご自慢の魔力がわいてこないだろ？



(確かにいつものように力が入らない…)

別になんともないけど？

人間ごときが吸血鬼をどっどっできめるわけないでしょ

じゃあなんで吸血鬼さんの
クリトリスがここにあるのかな？

…ッ!?

(なんで私のクリトリスがそこにあるの!?)



簡単な転移魔法の一種なんだが、
吸血鬼にも効くもんだな



さて、拷問の内容を言っていなかったな
これからするのは、このクリトリスをいじめつづす快樂拷問だ
廃人になりたく無ければ、さっさと魔王の居場所を吐くことだな



低俗な人間がの身体に触れようなんて
絶対に許さないわよ！

おおこわいこわい
でも、お前のクリをいじるのは私ではなくこいつだよ



こいつは催淫スライムだ
お前はこれからこいつの餌になるんだよ

何かと思えば笑わせるわ
最低級の魔物であるスライムに
何ができるっていうのかしら

はいはい、おらっくんおこわい



スル...

ドロォー

（冷たくてなんだかヒリヒリする……
でもこの程度なら……）



ほり話す気になったか？



この程度、なんてことないわよ...

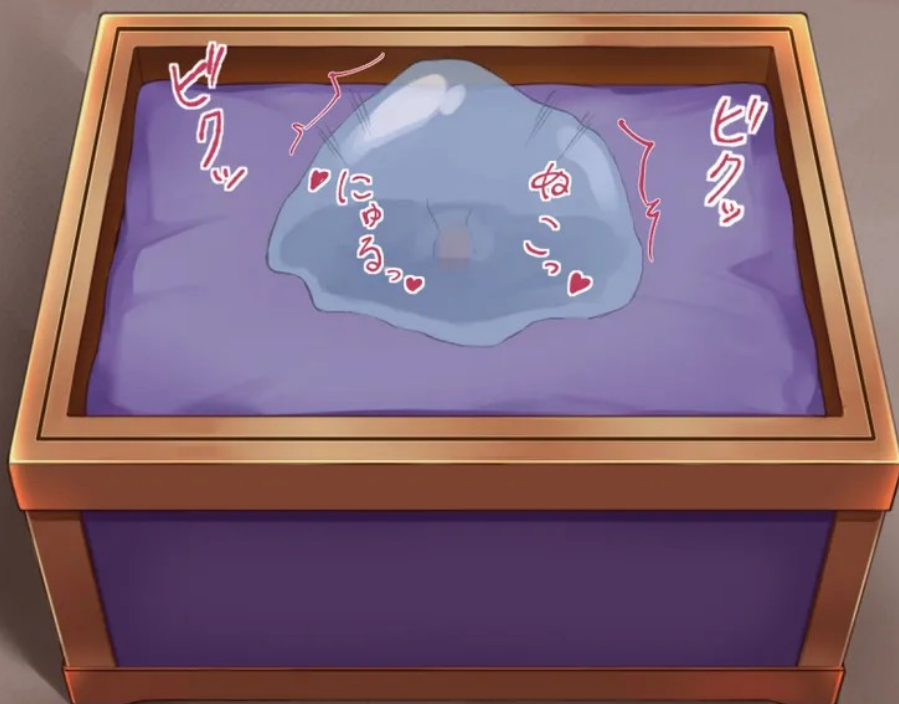
そうか...じゃあ今日の拷問はここまでだ
スライムは明日までそのままだがな



待つ…
そのまもにちねんしん…!!



そのままの意味だよ
明日まで、スライム様に
そのクリトリス可愛がってもらえよ





(身体が熱くて熱くてたまらないのに……
直接的な刺激がないから……
何が隙間風だ……馬鹿馬鹿しい……)



お、耐えてるね
流石は森のダークエルフ様だ
気絶してもおかしくないと思っていたのだが……



エ、エルフをお……なめるなよ……
これくらいで根をあげ……るようなやわな種族ではあ……



だが、しかし……良い顔するようになったな
さっきから「イカせてください」って顔してるぜ？



なッ！
そんなわけないだろー！こきとつなごをいうなー！



くく…すまんすまん、見間違いだったみたいだ
今日はエルフさんに2つプレゼントを持ってきたんだ



今付けたリングなんだが…
絶頂禁止リングっていつてな
これを装着するとイクことができなくなるんだ
どんな刺激を与えてもな



え…
(今日は…イクことができないよ…)



(いや、何を考えてるんだ!?
イキたいだなんて…!!)



そんなこと…望んでない…!!



…それでもう一つのプレゼントはこの触手くん

ぐはぁ

こいつは

女を弄ぶことが大好きなやつでな

どこをどうすれば気持ちいいかすぐにわかったまうんだ

(いつに…これから…わたしは…)



ほれ

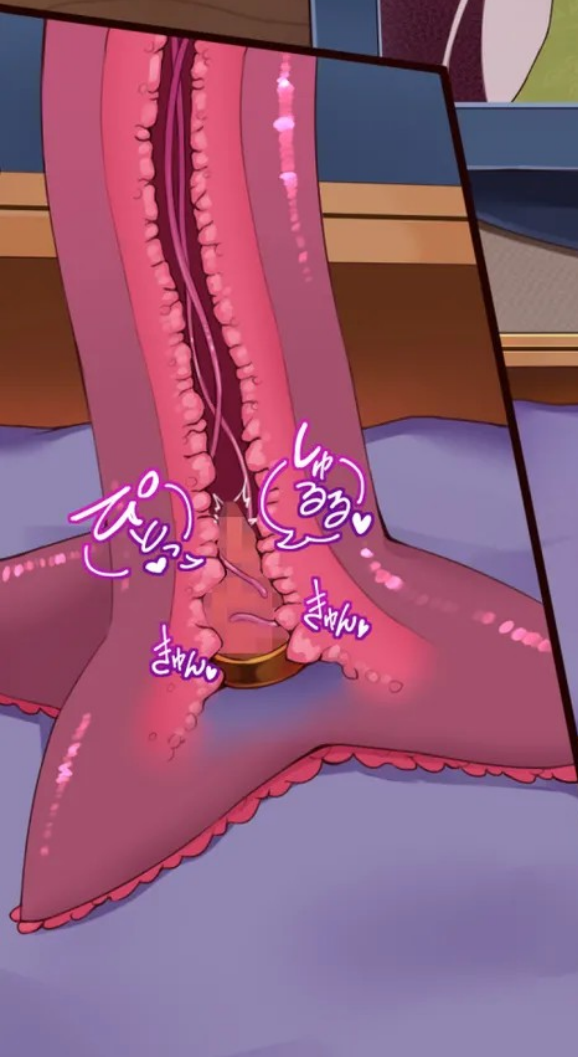
(♡♡♡)

~~~~~  
!!!





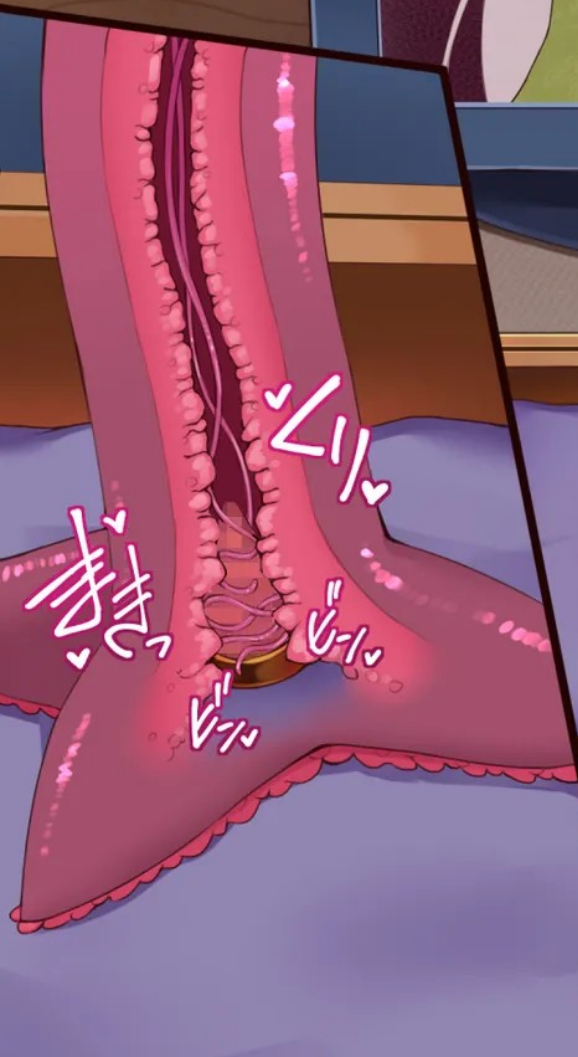
あつ♡  
(…?中で何か…?)





巻きつかないで♡

だめっ♡









(ああ………♡  
気持ちいい……気持ちいいはず……なのにつ♡



イケない  
イケないのが……こんなに辛いなんて……♡)





(今度は…何…?)

はっ♡ はっ♡





(もしかして…これ…)  
それ…やらないで…っ



絶対…ダメ…っ  
ダメやめてやだダメダメダ

















ハハハ！  
気に入ってくれたみたいだな！！



触手くんもエルフさんの事を  
気に入ったみたいだよ





それじゃ相思相愛みたいだし、これからずっと一緒に…

まって…！

イキたい…イキたい…からあ…♡



ん、話してくれる気になったか？  
魔王の居場所を

ち、ちがつー



そうか、じゃあまた明日…





おや・・・なんだか間抜けな顔をしてるな

こんな様子でこれから先耐えられるかな





今日は吸血鬼さんのためにいいものを用意したんだ



超強化した催淫スライムだ  
まだ実験段階だからどのくらい効果があるかしらんがな





とりあえずこのスライムをどけないとな  
あれ？吸いついてなかなか離さないな…

おねがい、ひっぱらないでえ





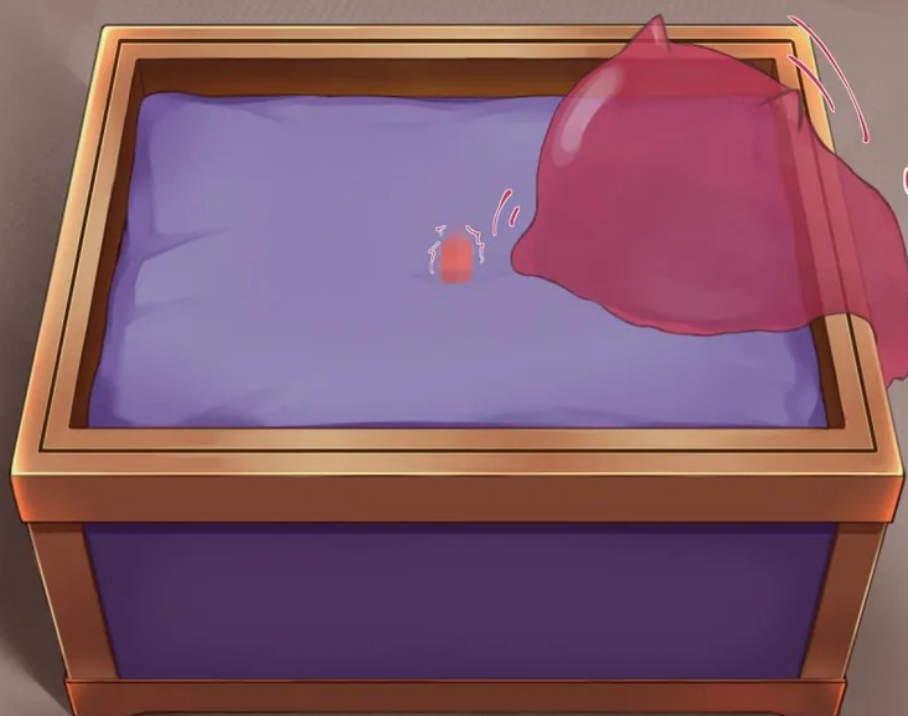
ちよつと強引だが…  
おらっ！



ちよぽん、♡

さて、じゃあ次はこの強化スライムを…

ちよこっぴー…！



ぷるんっ♡



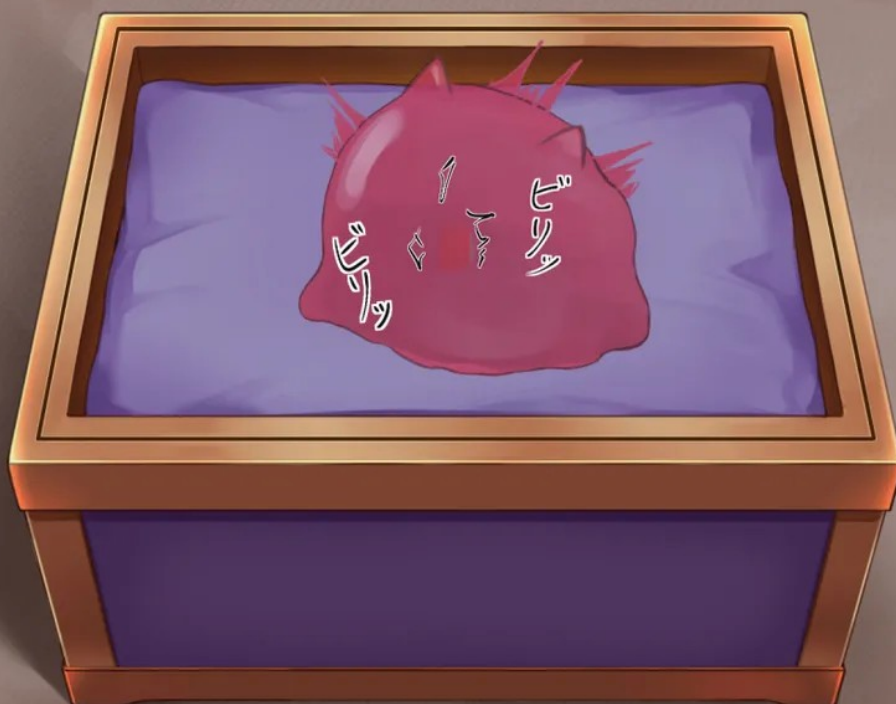
これやば…♡  
さっきのヤツより痺れて熱い…!!



これは…  
催淫効果を少し強化しすぎたかな…



ハハハ！どれだけ身をよじらたって  
快感からは逃げられないだろう！





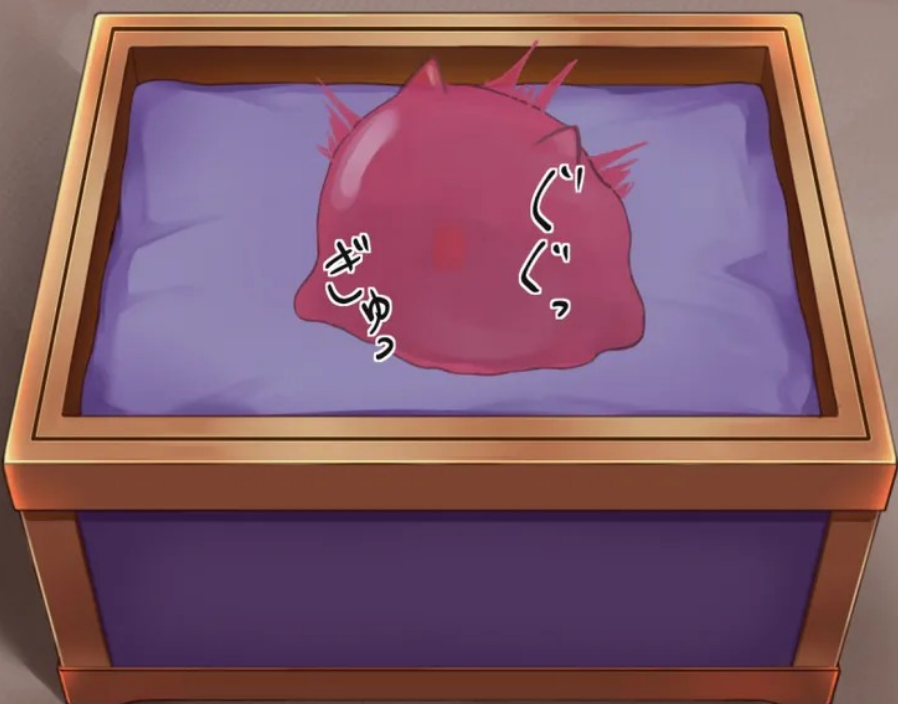
そろそろ居場所を話す気になったか？

(魔力をクリに集中させればまだ…)



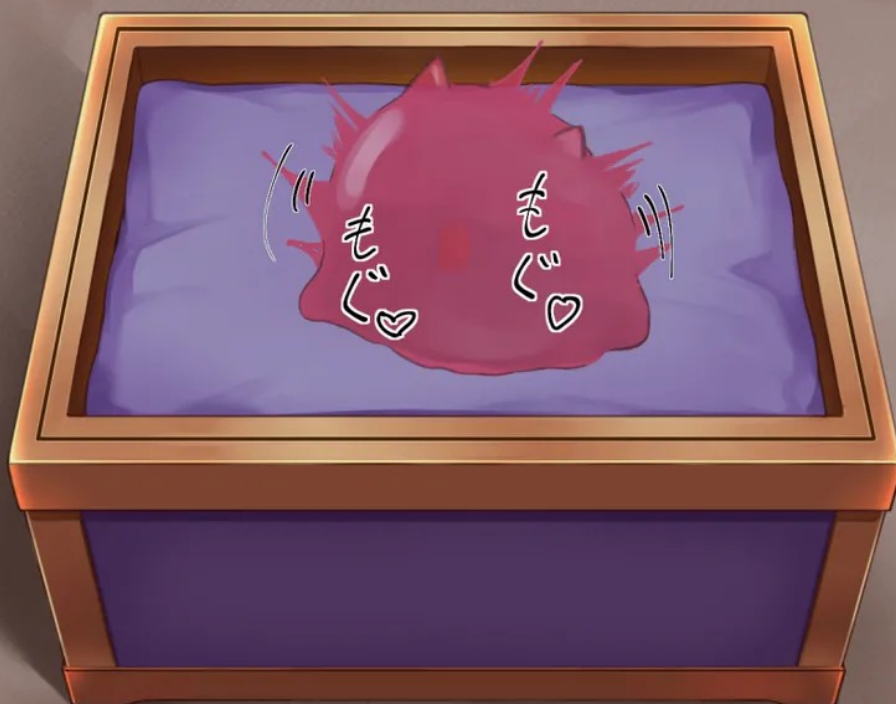
ふっ…この程度で吸血鬼が負けるわけないでしょ…

そうか？さすが吸血鬼さんは強いなあ



言っていなかったがこいつは  
魔力を食って活性化する性質があつてな…

(おっきより快感が……!!)





(これやばい……  
気持ちよすぎる……!!)



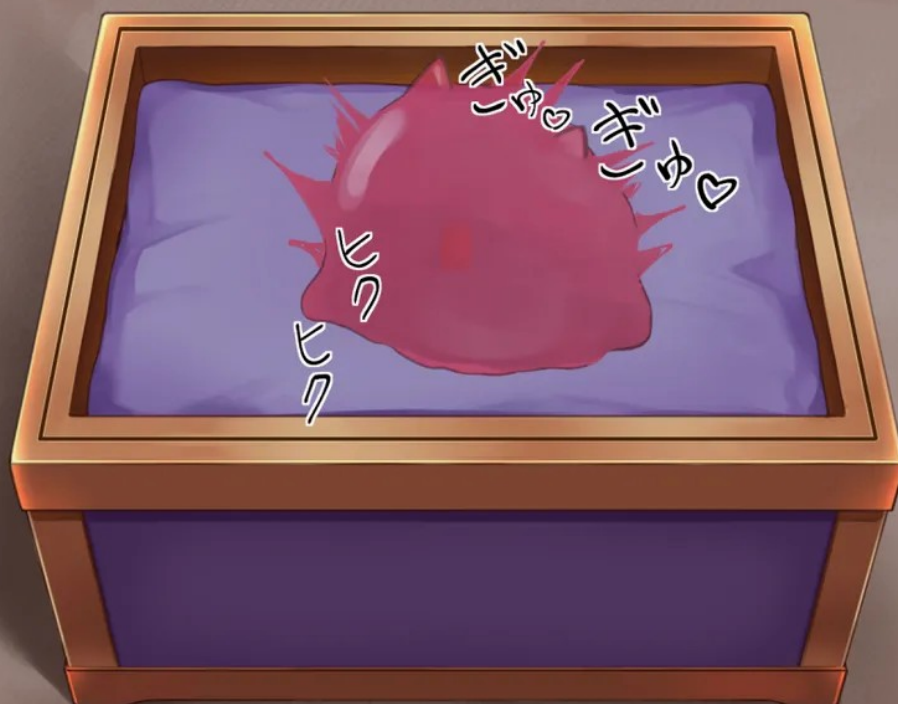
ちっぴから  
ぽこぽこ……)



おっちゃん♡  
ふっちゃん♡  
びく  
びく



おっともうこんな時間か  
また明日来るからがんばれよ







—おい、起きろ

ふえあ？



だらしねえな、それでもエルフか？





今日は新しいお友達を連れてきてやったぞ  
催淫くん

こいつは

女性の愛液が好物なんだが…  
効率良く摂取するため、  
感度を上昇させる体液を分泌するんだ





(なに…いつてるの…？  
感度がいくら上がったも…  
イクことなんて出来ないのに…)



やだ…

まあ…うんうん…まあ…





ひっ…

ホントに…やめて…  
ねえいや…だから—





~~~~~  
U-!







(あ…ダメだ…これ…
こんなの…耐えられるわけがない…)



しんじやう…
このまま放置されると…死んじやう…!)



じゃあ渡したい物も渡したしこれで...



大丈夫大丈夫
加減が出来るように調教してあるから



じゃあまた明日...



まあ、今日の拷問を始めるぞ

いりゃ完全に出来上がっちゃってるな



とりもえず、今のやつをどけないと
よいつしょいよ



ずる〜



さて今日の拷問なんだが…

ちよっとまって!! 秘密を話すわ



吸血種の中でも私はえらいから、きっと期待に応えられるわ!!
魔王の居場所だってなんだって教えてあげる、だからお願い!!



おお、ついに口を割る気になったか
高貴な吸血鬼様が人間に屈していいのかな



私が悪かったわ、だからお願いもうやめて…



ハハ！滑稽だな
でもな、実はもう秘密を話してもらった必要はないんだ

え…どうしてなの？



他所で拷問を受けている奴が
魔王の居場所を吐いたんだ



だからお前から秘密を聞く必要はなくなった
じゃあ私はどうなるの？
解放されるの？もうこれで終わり？



国王軍の方針では必要のない捕虜は開放する方針だ
それなら、私は解放されるのね!!



だが、捕虜の扱いは現場にゆだねられていてな
『有効活用』するなら好きにしていっていいことになるんだ



お前は私のスライム研究の材料として有効活用してやる
ぶいぶいぶいぶい!!

ほら、今日はたくさん連れてきたぞ



ぬちゃ

ぬる

ずり



まあ研究というのも建前で、
こうやっておもちゃにするのが趣味なんだがな



いやっ!!
もうイキたくないっ!!
じゃあまた明日





(コイツ…四六時中飽きもせずずっとうずうず…
誰も助けに来る気配なんてない…
もしかして、ずっとうずのまま…



せ、せめてイケれば…
イキたい…イキたい…イキたい…イキたい…(♡)



なあ……言葉はわかるか……？
イジ……ってないで聞け……



根本にあるリングを……
外せるかつ？



(クンクン)
(♡...♡)



…お楽しみみたいだな、エルフさんよ
そろそろ話してくれる気になったか？



(ああ…だから捕まってたんだっけ…
もうどうでもいい…イキけるなら…どうでも…♡)



し、知らないんだ…
何も知らない…居場所なんて…知らない…



あんたが思ってるほどわたしは偉くない
従者にしか会ったことない、ただの末端なんだ



ハハハ！流石は森のダークエルフさんだ！
こんなになっても吐かないなんて、見上げた精神だ！

え……ちがつ……！！



こうなったらアレを使うしかないかな？
前に使用した時は直ぐに廃人になってしまつて
聞くものも聞けなくなつちまつたが……
森のダークエルフさんなら耐えてくれるに違いないだろうな



イ、イヤだ…!!
これ以上刺激が強くなってしまったら…♡



イキたい…リングを外して貰うには…
どうしたらいい…!!



…を外してくれ

うん？



リングを…外してくれ…
そしたら話す…何だって話してやる…



あゝ…それなんだが…
無理なんだ

なっ!?何でも話すから…さ…!!



というのも、これは装着したら最後、
二度と外れない設計になってるんだ

え…??



まあさういふふうになるな



いふ...

うそ...
イケないの...? もう...





ハハハ！これ！これが見たかったんだ！
プライドの高いエルフさんの心が折れる瞬間が！



それじゃあ、これからの
エルフさんの長い長い余生は触手くん達と戯れる事で決定だ！
まあイクことが出来ないから少々辛い毎日になると思うが…

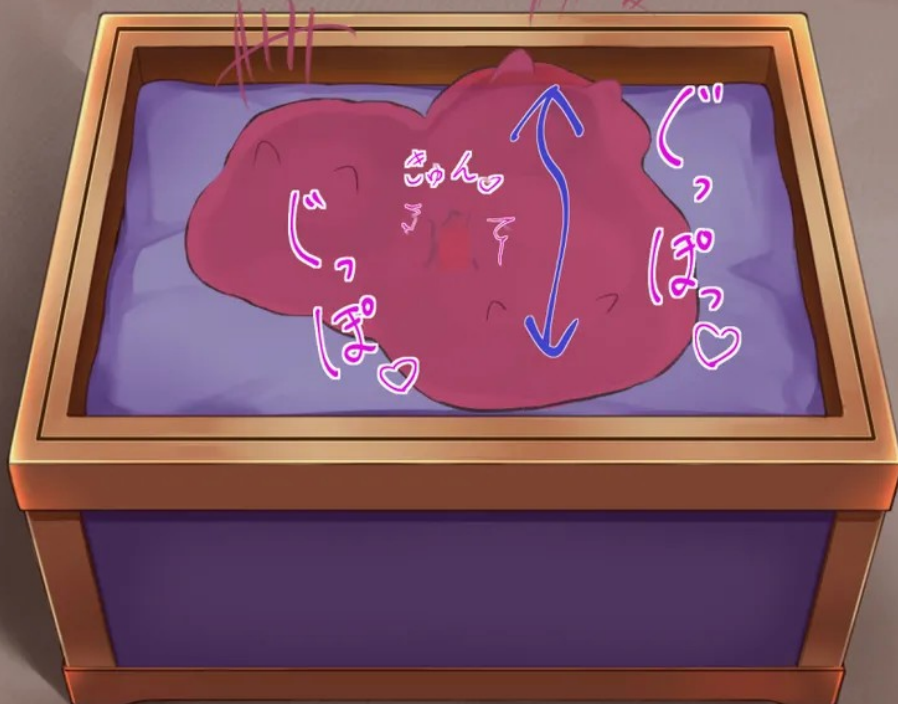


良いものになると信じているよ
じゃあな――





今日の調子はどつた〜



今日はこのデスクメスライムで遊んでやるよ
無数の突起でやすりがけしてやろう



ほらクリートをあつていようね

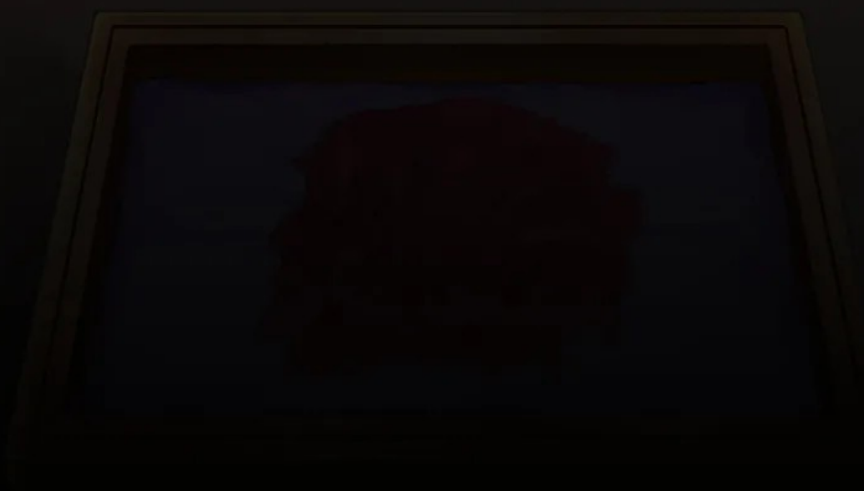




ー#0to#00ん.....

意識がもう.....







気を失われては困るよ

なに...?今の...



お前の体に巻き付いているスライムには
意識レベル感知機能もあってな
レベルが低下したら自動的に覚醒させれるんだ



おねが いい本 当に も う イキ た く な い の …



わが ま ま な 奴 だ な
こ の 世 に は イキ た く て も い け な い や し も ら ぬ の に …



さて、私にも他の仕事があるからな
そろそろお暇をせしめよう



きみはこのままスライムと一生戯れていてくれ



たまには様子を見に来てやるからな
じゃあな







